



なつやすみの美術館 6 Records and Recollection

# きろくときおく

2016年7月2日[土]ー9月19日[月・祝]

夏休み中の子どもとおとなと一緒に楽しむ展覧会。

6回目となる今回は、記録と記憶をテーマに作品を紹介します。

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337

E-MAIL [moma\\_w@future.ocn.ne.jp](mailto:moma_w@future.ocn.ne.jp) WEB <http://www.momaw.jp/>

表紙・栗田宏一  
《ソイル・ライブラリー／和歌山》  
2007年 和歌山県内の土、ガラス瓶

ガラス瓶に入っているさまざまな色の土は、栗田宏一（1962-）が和歌山県の市町村（合併前）をすべてまわって集めたもの。全部で108。ガラス瓶には、土を採集した場所の地名が記してあります。

## なつやすみの美術館 6 きろくときおく

2016年7月2日(土)～9月19日(月・祝)

「なつやすみの美術館」シリーズの第6回目です。

このシリーズは、夏期休暇中の子どもたちが積極的に美術館へと足を運べるように、また子どもと大人が一緒になって、さまざまな美術の面白さに触れられるように企画するものです。今回は子どもたちに下記のように話しかけます。

嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、辛かったこと。いろいろな思い出がみんなにもあると思います。学校の発表会や家族旅行など特別なイベントもあるし、そうでなくても、日々の生活のなかではいろいろなことがおこる。でも忘れてしまっていることもたくさんあるでしょう。じゃあ覚えておくために何を？ 日記をつける。写真を撮る。いろいろなやり方で記録する。忘れていた記憶も、残っていた記録からよみがえることもある。そんなきろく(記録)やきおく(記憶)が、今回の展覧会のテーマです。自分たちが住んでいる和歌山はどんなところか、どんなところだったか。土地や場所のきろくときおくをたどるところから展覧会は始まります。そして、自分や家族といった身近なひとや、だれかのきろくときおく、いろんなもののきろくときおく、社会で起こるできごとのきろくときおくなど、さまざまなきろくときおくを美術作品のなかに探っていきます。



3. 五姓田芳柳  
《相川龍蔵守胤肖像》  
1887年11月29日 顔料、絹

五姓田芳柳(1827-1892)は、写真を元にした肖像画を、注文により多く手がけました。この作品は、肖像主が67才の時の像。セットで息子の肖像画も描かれています。



1. 太田三郎《Post War 54 被爆地蔵1》  
1999年レーザープリント、紙

太田三郎(1950-)は、広島市内に残る原爆によって被爆したお地蔵様をめくり写真に撮って、オリジナルの切手シートにしました。「Post War」シリーズの一つで、切手の料金表示部分の数字は、戦後54年にこの作品が制作されたことを意味しています。



2. 大西伸明《katorisenkou》2004年  
エポキシ樹脂、アクリル

本物そっくりの蚊取線香は、透明樹脂を用いて型取り、精巧に彩色したもの。オリジナルと複製のあいだの問題を、大西伸明(1972-)は問いかけています。ほかにも電球、チョコレート、磁石、十円玉などさまざまな物を模した作品をあわせて展示します。

4. 妻木良三《境界 II》  
2009-2011年 鉛筆・アクリル・ジェツ、板

この不思議な風景は、ほとんど鉛筆だけで描かれています。妻木良三(1974-)は、布の下にいろいろな物を入れて作った、布の皺(ひだ)が連なる風景を元にしながら、この作品を制作しました。



5. 野田哲也《日記 1976年2月15日》  
1976年 木版・シルクスクリーン、紙

野田哲也(1940-)の作品は、日々の生活のなかで身辺におこるできごとを撮影した写真を、さまざまな方法で加工して版画にしています。ほかの作品のタイトルもすべて《日記 ○年○月○日》で、40年近くこうした作品を作り続けています。



6. 大亦新治郎《習作 大橋にて》1913年9月22日  
水彩、紙

大亦新治郎(1894-1947/後の日本画家大亦観風)は、明治末から大正初期にかけて、和歌山市内の風景をスケッチしてまわりました。描かれた場所の地名のわかるスケッチも多く、当時の地図とともに展示します。

▼掲載用画像については  
広報担当にお問合せ下さい。

## 開催概要

- 会場 和歌山県立近代美術館 2階展示室  
会期 2016年7月2日(土)~9月19日(月・祝)  
開館時間 9時30分~17時(入場は16時30分まで)  
休館日 月曜日(ただし7月18日、9月19日は開館し、7月19日、9月20日が休館)  
観覧料 一般510(410)円、大学生300(250)円  
\*( )内は20名以上の団体料金 \*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料  
\*毎月第4土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

## 関連事業

### ●「きろくときおくをめぐるワークショップ」講師:妻木良三(美術家)

【日時】8月28日(日)10時~(要申込。詳細はお問い合わせください。)

【主催】和歌山県・一般財団法人和歌山県文化振興財団

【協力】和歌山県立近代美術館

【企画・運営協力】NPO法人和歌山芸術文化支援協会(wacss)

こどもは  
観覧料  
無料

### ●フロア・レクチャー(展示解説/大人もこどもも参加可)

【日時】7月30日(土)、8月21日(日)、9月19日(月・祝)

いずれも14時~(展示室にて、要観覧券)

### ●こども美術館部「おぼえるってどんなこと」(対象:小学生)

【日時】8月6日(土)14時~(当日受付にて申込必要、要観覧券)

### ●こどもギャラリートーク(こども向けのトーク/大人のみ、親子での参加も可)

【日時】7月31日(日)、8月14日(日)

いずれも14時~(展示室にて、要観覧券)

### ●たまごせんせいと「わくわくアートツアー」(こどもも大人も参加可)

和歌山大学の学生が、鑑賞をサポートします。

【日時】8月10日(水)~13日(土)、16日(火)~19日(金)各回45分

いずれも①11時~②13時30分~③15時~3回開催(展示室にて、要観覧券)



こどもギャラリートーク 昨年度の様子



たまごせんせいと  
「わくわくアートツアー」  
昨年度の様子

たません



#### 【同時期開催】

コレクション展 2016-夏

特集展示 ドローイング 水彩・パステル・紙の世界

【会期】開催中~9月4日(日)

【会場】1階展示室

コレクション展 2016-秋

特集展示 薔薇色の鏡 一銅版画の技と表現

【会期】9月13日(火)~11月3日(木・祝)

【会場】1階展示室

#### 【次回開催】

**特別展** 動き出す! 絵画 モネ・ゴッホ・ピカソらと大正の若き洋画家たち

【会期】11月19日(土)~2017年1月15日(日)

【会場】2階展示室

## 和歌山県立近代美術館

学芸担当:奥村一郎 広報担当:島

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>